

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

| | | |
|--------------------|---|-------------------------------|
| 化学品の名称 | : | 濾過板 NA-500 |
| 供給者の会社名称, 住所及び電話番号 | : | |
| 会社名称 | : | 東洋濾紙株式会社 |
| 住所 | : | 東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル5階 |
| 担当部門 | : | 品質保証室 |
| 電話番号 | : | 03-5521-2176 |
| FAX番号 | : | 03-5521-2177 |
| メールアドレス | : | trk-hinsho@advantec.co.jp |
| 推奨用途 | : | 液体の清澄濾過 |
| 使用上の制限 | : | 上記以外の用途にご使用される場合は、事前にご相談ください。 |

2. 危険有害性の要約

| | | |
|-----------|---|---|
| 化学品のGHS分類 | : | |
| 物理化学的危険性 | : | 区分に該当しない。 |
| 健康有害性 | : | |
| 発がん性 | : | 区分1A |
| 環境有害性 | : | 分類できない。 |
| GHSラベル要素 | : | |
| 絵表示又はシンボル | : | |
| 注意喚起語 | : | 危険。 |
| 危険有害性情報 | : | 発がんのおそれ。 長期にわたる、または反復暴露による吸入により、肺損傷の原因となる。 |
| 注意書き | : | 粉じんを吸入しないこと。 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。 |

3. 組成及び成分情報

| | | |
|--------------|---|--|
| 化学物質・混合物の区別 | : | 混合物 |
| 化学名又は一般名 | : | 濾過板 |
| 成分及び濃度又は濃度範囲 | : | セルロース (CAS No.65996-61-4) 珪藻土 (CAS No.91053-39-3) クリストバライト (CAS No.14464-46-1) < 4% 石英 (CAS No.14808-60-7) < 3% ポリアミドエピクロロヒドリン樹脂 |
| 官報公示整理番号 | : | |
| 化審法 | : | 珪藻土 (1)-548 クリストバライト (1)-548 石英 (7)-1961 ポリアミドエピクロロヒドリン樹脂 |

| | | |
|--------------|---|---|
| 安衛法 | : | 珪藻土 別表第9の165-2 シリカ クリストバライト 別表第9の165-2 シリカ 石英 |
| GHS分類に寄与する成分 | : | 天然鉱物(珪藻土)を使用しているため、製品中に結晶性シリカは最大 7wt%含有する。 |

4. 応急措置

| | | |
|-----------|---|--|
| 吸入した場合 | : | 粉塵を吸入した場合、新鮮な空気の場所に移し、鼻をかみ、うがいをさせる。 大量に吸入した場合は、水で鼻孔を洗浄し、異常がある場合は、医師の診察を受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | : | 該当しない。 |
| 眼に入った場合 | : | 直ちに清浄な流水で十分に洗眼する。 異常がある場合は、医師の診察を受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | : | 異常がある場合は、医師の診察を受ける。 |

5. 火災時の措置

| | | |
|-------------|---|---------------------------------------|
| 適切な消火剤 | : | 水(噴霧)、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素消火剤、ハロゲン化消火剤など。 |
| 使ってはならない消火剤 | : | データなし。 |

6. 漏出時の措置

| | | |
|---------------------------|---|--------|
| 人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置 | : | データなし。 |
| 環境に対する注意事項 | : | データなし。 |
| 封じ込め及び浄化の方法 及び機材 | : | データなし。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

| | | |
|-----|---|---|
| 取扱い | : | 火器のそばでの取扱いに注意する。 |
| 保管 | : | 変質および吸湿による劣化を防止するため、密閉して、冷暗所に貯蔵する。 また酸化物質、有機過酸化物質などと、同一の場所に置かない。 |

8. ばく露防止及び保護措置

| | | |
|---------------|---|--|
| 管理濃度 | : | データなし。 |
| 許容濃度 日本産業衛生学会 | : | 吸入性粉じん 0.5mg/m ³ 、総粉じん 2.0mg/m ³ (珪藻土) |
| ACGIH | : | 0.025 mg/m ³ (クリストバライト) 0.025 mg/m ³ (石英) |
| 設備対策 | : | 必要に応じて講ずる。 |
| 保護具 | : | 必要に応じて使用する。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-------------------|--------------------|
| 物理状態 | : 固体、約3.7mmの厚さの板紙。 |
| 色 | : 茶色。 |
| 臭い | : なし。 |
| 融点/凝固点 | : データなし。 |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | : データなし。 |
| 可燃性 | : あり。 |
| 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 | : 該当しない。 |
| 引火点 | : 該当しない。 |
| 自然発火点 | : 該当しない。 |
| 分解温度 | : 該当しない。 |
| pH | : データなし。 |
| 動粘性率 | : 該当しない。 |
| 溶解度 | : 水に不溶。 |
| n-オクタノール/水分配係数 | : データなし。 |
| 蒸気圧 | : データなし。 |
| 密度又は相対密度 | : データなし。 |
| 相対ガス密度 | : 該当しない。 |
| 粒子特性 | : データなし。 |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|---|
| 反応性 | : 通常の手扱い条件では安定。 |
| 化学的安定性 | : 通常の手扱い条件では安定。 |
| 危険有害反応可能性 | : データなし。 |
| 避けるべき条件 | : 直射日光、紫外線、水濡れ、高温、高湿、屋外保管、強酸化剤との接触を避ける。 |
| 混触危険物質 | : データなし。 |
| 危険有害な分解生成物 | : データなし。 |

11. 有害性情報

| | |
|------------------|--|
| 急性毒性 | |
| 経口 | : データ不足のため分類できない。 |
| 経皮 | : データ不足のため分類できない。 |
| 吸入：ガス | : 区分に該当しない。 |
| 吸入：蒸気 | : 区分に該当しない。 |
| 吸入：粉塵、ミスト | : データ不足のため分類できない。 |
| | (成分として) |
| | 吸い込んだ場合に危険と考えられている結晶性シリカを含んでいるが、データ不足のため分類できない。 (珪藻土) |
| 皮膚腐食性/刺激性 | : データ不足のため分類できない。 |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | : データ不足のため分類できない。 |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | : データ不足のため分類できない。 |
| 生殖細胞変異原性 | : データ不足のため分類できない。 |

| | | |
|------------------|---|--|
| 発がん性 | : | 区分1A 区分1Aに該当する結晶性シリカを混合物組成比として、発がん性区分1のカットオフ値 (0.1%) 以上を含有していることから、区分1Aと判断した。 (成分として) 区分1A 吸い込むと健康を害する可能性のある結晶性シリカを含んでいる。 IARCは、結晶性シリカを人体に対し発がん性があると分類している(グループ1)。 結晶性シリカは発ガン性物質と予測される物質として、NTPリストにも収載されている。 (珪藻土) |
| 生殖毒性 | : | データ不足のため分類できない。 |
| 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) | : | データ不足のため分類できない。 |
| 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) | : | データ不足のため分類できない。 (成分として) 結晶性シリカは、非がん性疾病である珪肺症の原因である事が分かっている。 (珪藻土) |
| 誤えん有害性 | : | データ不足のため分類できない。 |

1 2. 環境影響情報

生態毒性

| | | |
|-----------------|---|-----------------|
| 水生環境有害性 短期 (急性) | : | データ不足のため分類できない。 |
| 水生環境有害性 長期 (慢性) | : | データ不足のため分類できない。 |
| 残留性・分解性 | : | データなし。 |
| 生体蓄積性 | : | データなし。 |
| 土壤中の移動性 | : | データなし。 |
| オゾン層への有害性 | : | データ不足のため分類できない。 |

1 3. 廃棄上の注意

該当法規に従い、廃棄物として処理する (国、都道府県ならびに地方自治体の法規、条例に従う)。

一般産業廃棄物と同様に、都道府県知事が許可した産業廃棄物処理業者もしくは、地方公共団体がその処理を行っている場合には、その団体に委託して処理する。

焼却処分するときは、管理された焼却設備を用いて、大気汚染防止法、廃掃法、水質汚濁防止法等に沿って処理する (廃棄時には、産業廃棄物として処理することをおすすめいたします)。

1 4. 輸送上の注意

| | | |
|----------------|---|----------|
| 国内規制がある場合の規制情報 | : | 国内規制はない。 |
|----------------|---|----------|

15. 適用法令

| | | |
|-----|---|---|
| 化審法 | : | 既存化学物質(1)-548 クリストバライト 既存化学物質(1)-548 石英 既存化学物質(7)-1961 ポリアミドエピクロロヒドリン樹脂 |
| 安衛法 | : | 名称等を表示し、又は通知すべき危険及び有害物 別表第9の165-2 シリカ クリストバライト 別表第9の165-2 シリカ 石英 |

16. その他の情報

記載内容の取扱い

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではなく、注意事項は、通常の手扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

ご需要家各位は本シートを参考にして、自らの責任において、個々取扱い等の実態に応じた適切な措置をお取りくださいますよう、お願いいたします。

参考文献

- ・GHSに基づく化学品の分類方法 (JIS Z 7252:2019)
- ・GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) (JIS Z 7253:2019)